

令和3年 労働者死傷病報告受理件数表

令和4年3月末確定
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		2	1		1			1	5	2	3
	食料品製造業	108	307	72	217	22	48	10	784	731	53
建 設 業		3	1			2			6	2	4
	木造家屋等 建築工事業	58	99	18	40	16	15	16	262	242	20
運 輸 交 通 業			1						1	2	-1
	道路貨物運送業	56	155	20	68	7	10	5	321	316	5
林 業									1		
	道路貨物運送業	49	147	20	67	6	10	4	303	299	4
小 売 業		4	3	6	1	4	2	4	24	1	-1
	飲食店	70	103	29	52	9	15	7	285	284	-2
社会福祉施設		60	106	52	37	8	15	6	284	240	44
	接客娯楽業	21	46	8	22	19	6	25	147	143	4
上記以外の事業		1	1						2	1	1
	清掃・と畜業	117	297	45	100	29	17	23	628	525	103
計		1	1						1		1
	清掃・と畜業	16	45	8	19	5		3	96	99	-3
前 年 同 期		6	4		1	2		1	14	10	4
	増 減	494	1,116	250	537	114	128	96	2,735	2,507	228
増 減		2	3	2	2			1	10		
	増 減	4	1	-2	-1	2			4		
		-28	107	88	29	-5	26	11	228		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	1				1		2	2	
	転倒	86	170	35	65	23	14	412	363	49
	はさまれ・ 巻き込まれ	2	201	40	96	33	28	525	602	-77
	切れ・こすれ	58	124	29	72	9	16	314	336	-22
	動作の反動・ 無理な動作	23	67	10	33	9	5	153	153	
起因物 別	建設機械等	70	183	26	90	15	20	413	376	37
	食品加工用機械	1	12	1	3			1	1	
	トラック	9	26	4	3	2		28	25	3
外国人の災害	7	26	4	3	2		42	29	13	
建設公共工事の 災害	1	1	17	42	8	10	3	3	1	2
	39	83	17	42	8	10	3	202	183	19
外国人の災害	18	108	12	55	11	8	2	214	181	-2
建設公共工事の 災害	2	11	4	6	4	6	7	48	34	14
	10	11	4	6	4	6	7	48	34	14

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

令和3年 死亡災害発生状況

令和4年3月末確定

群馬労働局

	令和元年	令和2年	令和3年	対元年比	対2年比
製造業	1	2	5	4	3
建設業		2	6	6	4
運輸交通業	5	2	1	-4	-1
林業		1			-1
商業	3	2		-3	-2
接客娯楽業					
その他	2	1	2		1
計	11	10	14	3	4

令和3年 死亡災害事例

令和4年3月末確定
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 21時頃 1～9人	70歳代 作業員	倉庫2階において、天井クレーンで凍結防止剤を散布車へ積込む作業の準備中に、搬入口の開口部（高さ4.4m）から墜落した。	土木工事業	墜落、転落	開口部
2	1月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	高速道路のインターチェンジ出口付近の伐採作業現場において、撤収作業のため高所作業車の後進を誘導していた被災者が同車に轢かれた。	土木工事業	交通事故（道路）	高所作業車
3	1月 11時頃 1～9人	20歳代 土工	浄化槽埋設のための掘削作業において、打設した鋼矢板の一部が傾いてきたので、当該鋼矢板を一旦外し、掘削部内で2名で地ならしをしていたところ、地山が崩壊し、1名が全身埋まり、もう1名が膝まで埋まった。	土木工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石
4	1月 8時頃 1～9人	20歳代 運転者	木造住宅新築工事現場において、搬入した建材（約縦300×横90×厚1cm）35枚の束（ラップで結束。重さ約350kg）をナイロンスリング2本を使用してホイールクレーンのフックに玉掛けし、荷台上で介添えをしようとしていたところ、つり荷が背部、頭部に激突した。	道路貨物 運送業	激突され	木材、竹材
5	3月 16時頃 10～29人	30歳代 作業員	コンクリートブロック成型機の型を代えるため、エアを抜いてボルト締めをしていたところ、成型機上部が下降し、成型機上部と下部の間に頭部がはさまれた。	窯業・ 土石製品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
6	5月 13時頃 1～9人	70歳代 土工	S造2階建て新築工事において、ドラグ・ショベルで碎石の山を移動させていた被災者が降車し、当該ドラグ・ショベルのアーム等の様子を確認していたところ、別の作業員が後進させたダンプトラックのあたりとドラグ・ショベルのアームとの間に胸部、頭部をはさまれた。	建築工事業	激突され	トラック
7	6月 10時頃 100～299人	30歳代 鍛造工	ショットブラスト機で、鍛造前の材料をブラスト処理する作業において、付属の巻上装置にて材料の入ったバケットをつり上げ、材料を投入口に自動搬送していたところ、投入口付近を覗き込んでいた被災者が、ショットブラスト機の扉とバケットに頭部をはさまれた。	製鉄・ 製鋼・ 圧延業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 金属加工用 機械
8	6月 14時頃 30～49人	40歳代 作業員	天井クレーンを使用して、鉄鋼スラグの入っている容器「スラグパン」をつり上げたところ、スラグパンが振れ、隣接のスラグパンとの間に頭部をはさまれた。	その他の 鉄鋼業	激突され	クレーン
9	6月 11時頃 1～9人	50歳代 運転者	堆肥で使用する木くずを運送するため、トラックを運転して県道を走行中、急カーブを曲がり切れず、ガードレールを突き破って、20m下の国道に転落した。	産業廃棄物 処理業	交通事故 （道路）	トラック

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
10	7月 11時頃 1～9人	70歳代 作業者	工場内において、被災者が何らかの原因で転倒し、近くのフライス盤の角に左前頭部をぶつけ、そのまま床に倒れ後頭部を打った。	機械器具 製造業	転倒	作業床、 歩み板
11	9月 8時頃 1～9人	50歳代 作業者	法面工事現場において、作業を始めるため法面を昇っていたところ、親綱が法枠を構成する金網に擦れて切れ、約10mの高さから墜落した。（ライフラインに安全帯が取り付けられていなかった。）	砂防工事業	墜落、転落	その他の 用具
12	9月 17時頃 10～29人	40歳代 製材工	全自動ツインバンドソーによる木材加工作業において、加工中の木材が、搬出される箇所とは異なる箇所へ落ちたため、その木材を取り除こうとしたところ、次工程へ木材を搬送するリフトの経路上で、リフトに腹部をはさまれた。	製材業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機
13	11月 13時頃 1～9人	60歳代 解体工	2階建て木造建築物の解体作業現場において、コンクリートブロック壁（高さ約2m×長さ約6m×幅0.15m）を解体中、解体ガラの整理作業を行っていた作業員が倒れてきたコンクリートブロック壁の下敷きになった。	木造家屋建 築工事業	崩壊、倒壊	建築物、 構築物
14	12月 12時頃 100～299人	40歳代 警備員	高速道路のパーキング入口付近において、路面工事による車線規制のため、規制区域内に設置した規制材の点検作業をしていたところ、規制区域内に進入してきた一般トラックに轢かれた。	警備業	交通事故 （道路）	トラック